

三種混合麻酔薬と拮抗薬の調整および投与方法

使用薬剤

成分	商品名	製造販売元	製品濃度
塩酸メedetミジン	ドルベネ注	共立製薬(株)	1 mg/ml×10 ml
ミダゾラム	ドルミカム 注射液 10mg	アステラス製薬(株)	10 mg/2 ml/管×10 管 10 管／箱
酒石酸ブトルファノール	ベトルファール	Meiji Seika ファルマ(株)	5 mg/ml×10 ml
塩酸アチパメゾール	アチパメ注	共立製薬(株)	5 mg/ml×10 ml

麻酔薬調整法

動物種	メDETミジン	ミダゾラム	ブトルファノール	生理食塩水	投与量
マウス	0.75ml	2ml	2.5ml	19.75ml	0.1ml/10g
ラット	0.75ml	2ml	2.5ml	7.25ml	0.25ml/100g

拮抗薬調整法

動物種	アチパメゾール	生理食塩水	投与量
マウス	0.6ml	9.4ml	0.1ml/10g
ラット	0.3ml	2.2ml	0.25ml/100g

使用方法

【麻酔】

適正な投与量を腹腔内投与または皮下投与することにより、マウスとラットに適正な麻酔状態が得られる。

表中の投与量はラットが 60 分麻酔量、マウスが 90 分麻酔量である。

系統差があるため、実験に用いる場合は少ない容量(×0.8 程度)で試してから実験に用いた方が良い。

腹腔内投与の誤投与で麻酔が効かない場合は、0.2 倍の投与量を追加投与し動物の様子をみる。

【覚醒】

覚醒させたい場合や麻酔薬を過量投与してしまった場合は、メDETミジン拮抗薬を用い、麻酔薬と同量を腹腔内または皮下に投与する。